

『奥多摩町過疎地域持続的発展計画（素案）』に対するパブリックコメント（意見募集）結果について

1 意見の募集期間 : 令和8年1月26日（月）～令和8年2月6日（金）

2 提出方法 : 意見記入フォーム、郵送、FAX、持参

3 提出人数及び意見数

| 提出方法 | 提出人数 | 意見数 |
|----------|------|-----|
| 意見記入フォーム | 3 | 3 |
| 郵送 | 0 | 0 |
| FAX | 0 | 0 |
| 持参 | 0 | 0 |
| 合計 | 3 | 3 |

4 提出された意見

| No. | 該当箇所 | 意見の内容 |
|-----|--|--|
| 1 | P.19～P.20 交通・通信体系の整備及び情報化の推進 | 【公共交通の抜本的な見直し（小型化・デマンド化）について】 素案P.19およびP.20において、現在のバス路線の維持が財政的に困難であり、新たな交通手段の構築が必要であるとの認識が示されている点に賛同します。小河内地区などの集落では、大型バスの定期運行は利用実態に合っておらず、空気を運ぶような状況が見受けられます。一方で、車を運転できない高齢者や子どもにとっては唯一の移動手段です。つきましては、以下の施策を具体的に検討していただきたく要望します。①車両の小型化（ジャンボタクシーや小型バス等への転換）によるコスト削減と運行本数の維持・増加。②定期運行にこだわらず、予約があった場合のみ運行する「デマンド型乗合交通（オンデマンドバス）」の導入。どうぞよろしくお願いいたします。 |
| 2 | P.15 産業の振興 P.19 交通・通信体系の整備及び情報化の推進 P.22 生活環境の整備 | 【交通不便地域における「多機能型生活拠点（無人コンビニのようなもの）」の整備について】商店がなく公共交通も不便な地域では、日常の買い物や行政手続きが大きな負担となっています。素案P.15でも「身近にできる買い物の場の確保」の重要性が指摘されていますが、民間活力だけに頼るのは限界があると考えます。そこで、P.22にある「生活館（地区避難所）」などの既存施設を活用し、以下の機能を持たせた「地域の小さな拠点（無人コンビニのような機能）」の整備を提案します。①購買機能: 食料品や日用品のストック（防災備蓄を兼ねたローリングストック形式や、無人販売機・スマートストアの設置）②行政・通信機能: P.19にある情報化の推進と合わせ、役場に行かずとも証明書発行や申請ができる端末の設置、および災害時にも使える発電機（太陽光&蓄電池もしくはディーゼル発電機）と通信設備。 |
| 3 | P.35 地域文化の振興 | 奥多摩町内で継承されている獅子舞などの祭礼は、担い手の高齢化や人手不足、資金不足により、継続が難しくなっている地域が増えています。祭礼は本番だけでなく、準備や後片付けにも多くの労力を必要としています。これらの作業に地域外の人に関われる体験型観光プログラムを造成し、人材確保と資金循環を生み出す仕組みづくりを計画に盛り込むことを提案します。例えば、花笠に使用する花づくりなどはその一例であり、屋内で実施できるため季節を問わず交流機会を創出できます。参加費の一部を地域に還元する仕組みを整えることで、文化継承の支援と関係人口の創出につながると考えます。 |

○個別の取組に対する貴重なご意見として承ります。今後の施策を検討する上で参考とさせていただくとともに、具体的な施策が住民の方々に行き届くよう引き続き努力してまいります。